

4/1 FRI ～

新放課後児童クラブ開設

志賀地域では、志賀小学校隣りに志賀放課後児童クラブが開設し、
富来地域では、富来小学校舎内に富来放課後児童クラブが開設します。
さらに、受け入れ対象は、小学校6年生までに拡大しました。

志賀放課後児童クラブついに完成！



児童の健全育成と保護者の就労・子育てを支援します

■放課後児童クラブとは

保護者が仕事で家庭にいない児童が、安心して過ごせる場所です。授業が終了した放課後や夏・冬・春休みなどの学校休業日に、家庭に代わる「生活の場」として、支援員が子どもを見守ります。また、保護者が安心して就労できるよう支援します。

■保護者負担金

- ・保育料・おやつ代：8,000円（1人/月額）
- ・保険料：800円（1人/年額）



トイレ
車椅子用トイレを完備

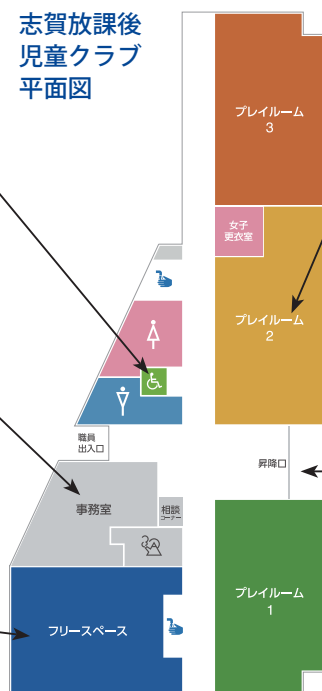


事務室



フリースペース

志賀放課後
児童クラブ
平面図



プレイルーム



プレイルームは3室。1部屋に児童60人が入れる。和室スペースもあり。



玄関

放課後児童 クラブ の過ごし方

平日
放課後
19:00

放課後、クラブの生活が始まります。着替えの後、宿題をしたり、遊んだり、おやつを食べたりします。その後、お迎えを待ちます。

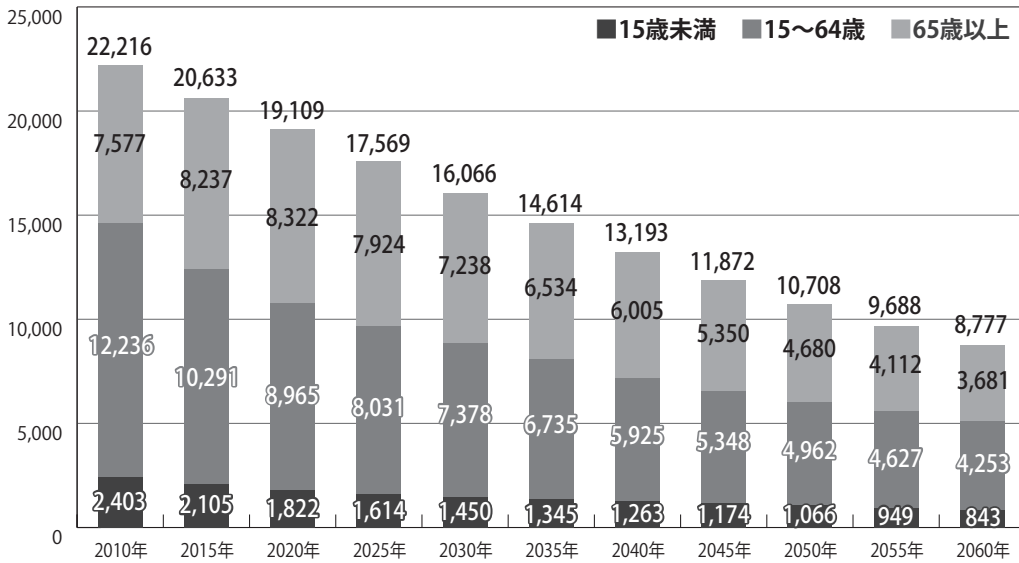
長期
休業日
7:30～
9:00

春、夏、冬休み、学校休業日・振替休日など、朝から1日の生活となり、支援員が子どもたちの生活を見守ります。

※クラブからの帰宅は、保護者・家族などのお迎えをお願いします。

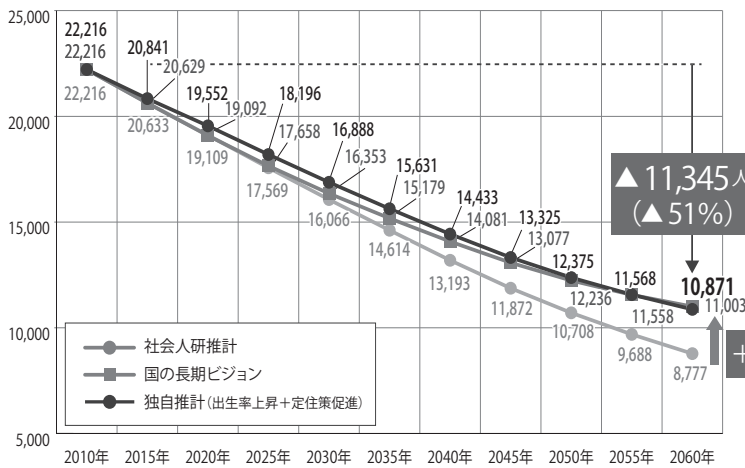
志賀町人口ビジョン 志賀町創生総合戦略

(人) 【志賀町の将来の人口推計】 国立社会保障・人口問題研究所による推計（以下社人研推計）



【志賀町人口ビジョン】
志賀町の人口・世帯人員は、1985年以降減少に転じ、世帯数は2000年以降減少し続けています。65歳以上の割合が、全国や県と比べ10%以上高く、死亡者数が出生者数を年間200人上回って推移し、高齢化が進んでいます。出生率は1.7と、全国（1.38）、県（1.46）と比べ高いものの、転出者が転入者を年間100人上回り、10・20代の転出が目立ちます。

平成22年の人口22,216人（国勢調査）は、216人（国勢調査）は、50年後、8,777人と60%の減少（社人研推計）が予測されています。そのため、移住定住の促進や若者層をはじめとした転出に対する歯止めが急務です。



【町が目指す将来人口】
今後も人口減少が続くと想定されますが、出生率の向上や、転入促進で、2060年の目標人口を約11,000人と設定し、地方創生に取り組んでいきます。

社人研と比べ
約**2,100**人の増加を想定

志賀町人口ビジョンの目標人口

22,216人 (2010年) ⇒ 約11,000人 (2060年)

【志賀町創生総合戦略】
国の地方創生を受け、志賀町独自の資源を活用しながら人口減少に歯止めをかける総合戦略を策定し、4つの基本目標を設定しました。この基本目標実現のため、それぞれに基本的方向を揚げ、平成27年から5年間、若者の定住促進や交流人口の拡大など、具体的な施策に取り組みます。

元氣な地域を次世代に引き継ぐため、何が大切で、何が必要なのか、各地区の抱える事情や課題、意見を伺うタウンミーティングやアンケートを実施しました。これらの意見も踏まえ、総合戦略に基づき、活力あるまちづくりを目指します。

日本の人口は、平成20年をピークに減少に転じ、今後も減少が続く見通しで、経済社会へのマイナス影響が懸念されています。国の地方創生を受け、本町でも、昨年10月に「志賀町人口ビジョン」と「志賀町創生総合戦略」を策定し、人口減少に歯止めをかけるため、志賀町創生に取り組んでいます。

平成28年度 予算 140 億円

(前年度比 10 億 2,000 万円の減額)

249 億 4,476 万 9 千円 予算総額

一般会計 + 特別会計 + 企業会計
(前年度比 16 億 8,980 万 2 千円の減額)

用語解説

町税：皆さんから納めてもらう町民税や固定資産税、軽自動車税など

地方交付税：町の財政需要に応じて国から交付されるお金

国庫支出金：町が法令に基づき実施しなければならない事務や国と相互に利害関係のある事業などに対して、国が負担すべきものの総称

県支出金：特定の事務・事業の全部または一部に充てるために県から支出されるお金

繰入金：基金から繰り入れるお金

町債：町が国や県、金融機関などから借りるお金

分担金・負担金：町で行う特定の事業により特別の利益を受ける人から、その受益を限度として徴収するお金

地方譲与税：皆さんが納めた国の税金の一部が町に譲与されるお金

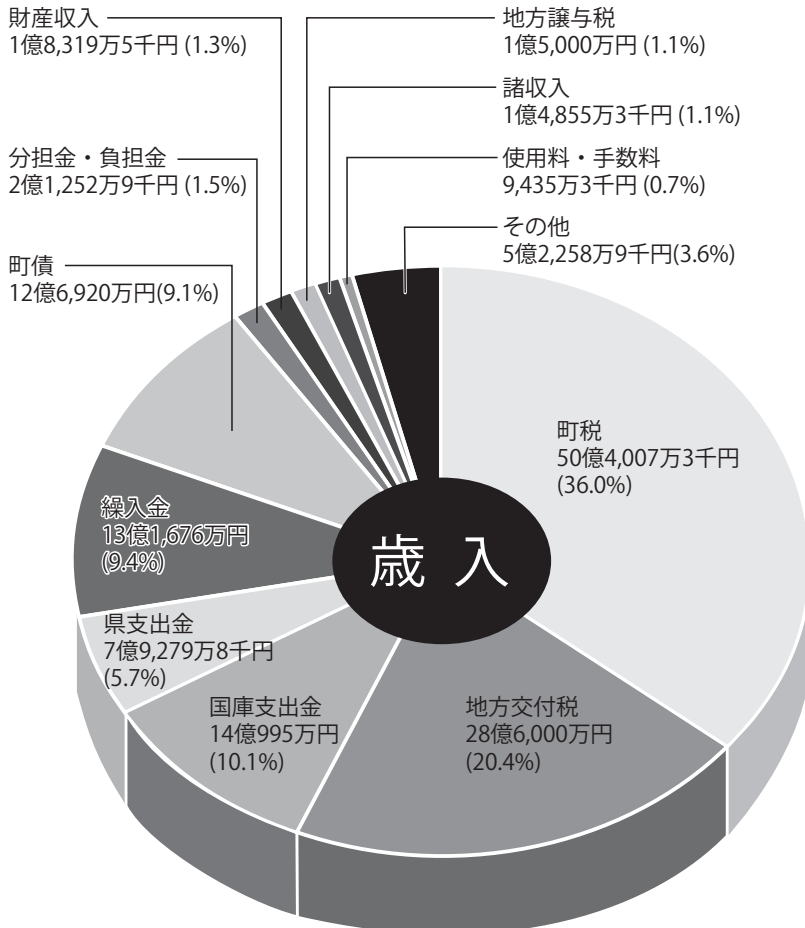
諸収入：特定の歳入のための科目ではなく他の収入科目に含まれない収入をまとめた科目

使用料・手数料：施設の使用料や住民票の写しなどの発行手数料など

財産収入：公有財産のうち行政財産を除いた財産の貸付や売払、基金運用利息などによる収入

歳入

では、志賀原子力発電所に係る固定資産税などの減収が見込まれる中での厳しい予算編成となりました。昨年度の統合小学校建設事業や定住促進住宅地整備事業などの大型事業が概ね完了したため、一般会計の総額は、対前年度10億2千万円減の140億円となり、特別会計と企業会計を合わせた予



◆会計別予算

区分	予算額	前年度比
一般会計	140 億円	△ 6.8%
特別会計		
国民健康保険特別会計	31 億 1,792 万 5 千円	△ 2.2%
後期高齢者医療特別会計	3 億 1,163 万 2 千円	0.3%
農業集落排水事業特別会計	4 億 6,067 万 9 千円	△ 3.8%
公共下水道事業特別会計	7 億 8,051 万円	△ 41.2%
地域し尿処理施設整備事業特別会計	1 億 4,565 万 8 千円	26.0%
簡易水道事業特別会計	1,368 万円	△ 11.0%
介護保険特別会計	28 億 4,957 万 3 千円	2.1%
町立診療所事業特別会計	1 億 6,817 万 5 千円	3.7%
ケーブルテレビ事業特別会計	4 億 4,877 万 8 千円	△ 23.4%
企業会計		
水道事業会計	10 億 2,468 万 5 千円	△ 0.6%
町立富来病院事業会計	16 億 2,347 万 4 千円	0.9%
予算総額 (合計)	249 億 4,476 万 9 千円	△ 6.3%

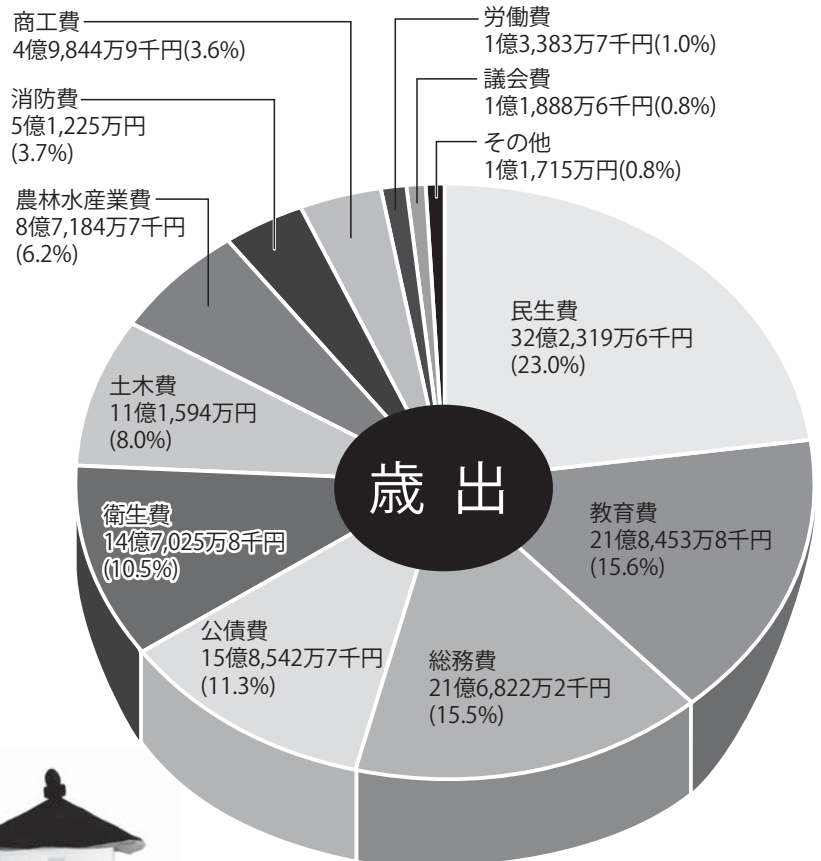
算総額は、対前年度
16億8,980万2千
円減の249億4,
476万9千円となり
ました。厳しい財政状
況下においても、積極
的なまちづくりが実現
できるよう、新たな取
り組みと事業の見直し
で、これまで以上に事
業の選択と集中に努め
ていきます。

歳出

では、志
賀町創生
総合戦略の本格的な実
行段階となる新たなス
テージの年であること
から、地方創生に向け
た積極型予算となつて
います。

今年度は、全国の自
治体が一斉に地方創生
に取り組み、自治体間
競争が激しさを増しま
す。その中で、町民の

皆さんには、「住んで
良かった」、町外の方
には、「住んでみたい」
と思ってもらえるまち
づくりを目指し、本町
の魅力をさらに引き出
すための各種施策実行
を重視した予算編成と
なっています。



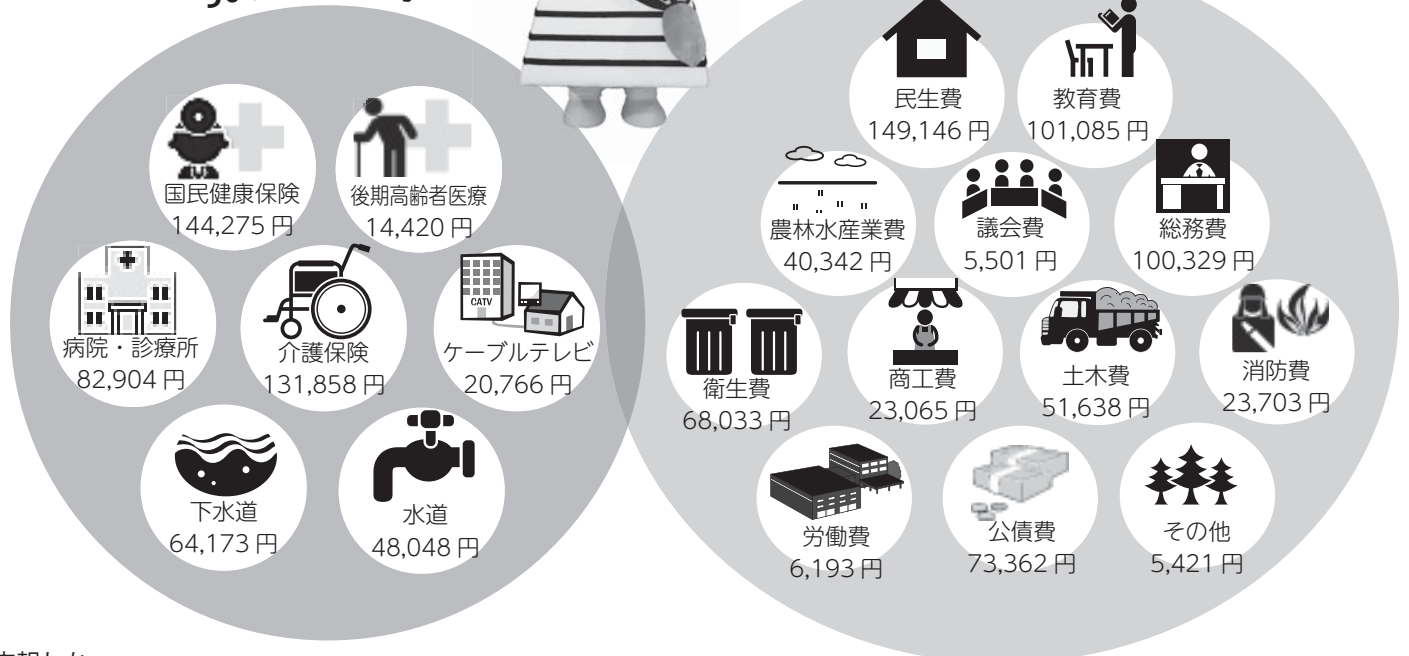
町民一人あたりの 予算額

115万
4,262円

(平成28年2月末日
現在の人口：21,611人)

特別会計・企業会計
50万6,444円

一般会計 64万7,818円



基本目標Ⅲ

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

▼独身男女の出会いサポート事業 【310万円】

婚活対象者向けのセミナー、婚活イベント、結婚支援推進セミナー開催経費

▼予防接種事業【413万5千円】

子どもインフルエンザ助成額を増額、対象年齢を18歳まで拡充

▼妊産婦医療費助成事業【200万円】

妊娠・出産のために生じた疾病に係る医療費助成制度の新設

▼学習サポート事業【979万1千円】

中学3年生を対象に、夏季・冬季休業期間を利用し、大学生を講師に招いて学習支援を行う

▼統合小学校整備事業 【9億2,194万9千円】

体育館・プールの建設、外構工事

▼小学校特別支援員配置事業 【2,189万2千円】

小学校特別支援員の増員

▼学校図書館の充実 【1,184万6千円】

図書館司書の増員

▼外国語教育推進事業 【1,959万6千円】

外国語指導助手を全小中学校に配置し、英語教育・英語活動の充実を図る



え、受験を控える中学3年生を対象にした学習サポートを引き続き実施します。また、小学校特別支援員の増員、全小中学校に図書館司書の配置など、教育環境の充実を図ります。

基本目標Ⅱ

地方への新しいひとの流れをつくる

▼移住定住促進事業 【399万6千円】

町内に移住定住する者に対する補助（住まいづくり奨励金、賃貸住宅家賃助成金、空家リフォーム再生等助成金）

▼地域おこし協力隊事業 【666万円6千円】

地域おこし協力隊2名の受入に係る経費（地域食材を活用したメニュー開発やスポーツ振興の支援）

▼みらいとうぶ定住促進奨励金事業 【6,000万円】

みらいとうぶで住宅を新築した者に家族構成、住宅取得費等の条件により奨励金を交付



地方への新しいひとの流れをつくる
若い世代の移住定住を促進するため、転入者に対し、新たに町内全域を対象とした新築住宅購入の住まいづくり奨励金や、民間賃貸住宅に入居する新婚・子育て世帯に対する家賃の一部助成、空き

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
少子化の要因とされる晩婚化、未婚化対策として、独身男女の出会いを支援します。教育環境については、志賀小学校の体育館とプールの建設や外構工事、富来中学校の空調整備などの充実に加

基本目標Ⅰ

地方における安定した雇用を創出する

▼起業・創業支援事業 【300万円】

町内で新たに起業する者に対する起業経費を補助

▼外国人技能実習生受入事業 【100万円】

外国人技能実習生受入経費に対する補助

▼介護職員研修費助成事業 【120万円】

介護職員の資格を取得する際に必要となる研修の受講料の一部を補助

▼新規就農総合支援事業 【1,350万円】

経営開始直後の新規就農者（45歳未満）に対する支援



地方における安定した雇用を創出する
町内で新たに事業を立ち上げる人に対し、起業経費の一部を補助するほか、介護職員の研修受講料を一部助成します。また、商工会による外国人技能実習生の受入事業に対し、講習や技能実習経費を補助します。

地方における安定した雇用を創出する
家リフォーム再生等助成制度を創設しました。また、大和ハウス工業㈱と協定を締結し、町内全域を対象とした移住・定住を、官民一体で推進します。さらに、地域食材を活用した新メニュー開発や、スポーツ振興支援などを行う地域おこし協力隊員を募集します。

【 その他主要な重点事業 】

基幹道路・生活道路などの
環境改善および安全対策分野

▼歩道カラー舗装化事業【510万円】
通学路の歩道がない危険な箇所の路肩
カラー舗装化

▼町道融雪設備整備事業
【3,900万円】

高浜中央線・地頭町中浜線の消雪設備
整備



▼町道領家コミュニティ線道路
改良事業 【2,500万円】

町道領家コミュニティ線の道路改良拡幅

生涯学習環境の整備充実と東京
オリンピックへ向けた合宿誘致分野

▼富来活性化センター改修事業
【1,840万円】

富来活性化センター屋上防水改修

▼総合武道館改修事業
【1億7,777万8千円】

東京オリンピック事前合宿誘致に向け
た総合武道館改修



▼総合体育館運動機器整備事業
【691万2千円】

総合体育館トレーニング器具（ランニ
ングマシン）更新

行財政分野

▼志賀町総合計画策定事業
（平成27～28年度事業）【481万9千円】

平成29年度から10か年の町の将来
像を描く長期計画の策定

▼公共施設解体等整理事業
【3,100万円】

富来サイクリングターミナル解体撤去

住民の健康・福祉の向上
および環境衛生分野

▼臨時福祉給付金給付事業
【3,218万9千円】

消費税引き上げによる低所得者への影響
緩和及び賃金引上げの恩恵が及びにくい
低年金受給者への給付金による支援

▼ごみ対策事業 【36万円】

生ごみ処理
機等設置費
用に対する
補助



地域を支える農林水産業分野

▼多面的機能支払交付金事業
【7,413万1千円】

農業・農村の有する多面的機能の維持・
発揮を図るための地域の共同活動に係
る支援

▼漁港災害復旧事業【8,500万円】

領家漁港における冬期風浪による漁港
海岸の災害復旧



基本目標Ⅳ

時代に合った地域を
つくり、安心な暮らしを守る

▼消防自動車購入事業
【2,180万3千円】

志賀町消防団（加茂分団）ポンプ車更新



▼生涯学習施設改修事業
【1,173万2千円】

熊野工芸工房（草木染教室）および荒木ヶ
丘工芸工房（陶芸教室）の旧福浦小学校空
き教室への移転経費

▼志賀町シルバーハウス大規模
改修事業 【8,659万2千円】

築25年経過のため、大規模改修を実施



時代に合った地域をつくり
安心な暮らしを守る

住民福祉向上のため、
老朽化が目立つシルバー
ハウスを大規模改修しま
す。また、安全な暮らし
を守るため、消防自動車
や消防小型ポンプの更新
防火水槽の新設を推進し、
地域防災力の向上に努め

ます。

その他、町民の健康づ
くりや生涯学習環境の充
実、東京オリンピックへ
向けた事前合宿誘致に向
け、総合武道館に冷暖房
設備の導入を含む大規模
改修を行うと共に、総合
体育館に最新のトレーニ
ング機器を整備します。